

## 学会等受賞論文の概要

受賞者	西村 亮彦（社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室）
論文題目	Humanscape から読み解くコミュニティのかたち ：メキシコ・シティ旧市街における十字架の道
授与機関	公益社団法人土木学会 景観・デザイン委員会
受賞時期	平成29年12月
受賞内容	第13回景観・デザイン研究発表会 優秀講演賞
論文概要	<p>国土交通省では、まちなかの道路や広場をはじめとする公共空間の利活用を進めてきた。公共空間のデザイン・マネジメントにあたり、都市のオープンスペースが市民による多様なアクティビティの受け皿として機能しているかどうか、継続的な調査・分析を行うことが重要である。しかしながら、都市のオープンスペースにおけるアクティビティの調査・分析手法は、未だ確立されていないと言える。</p> <p>そこで、本研究ではメキシコ・シティ旧市街の各教会において復活祭（Semana Santa）の聖金曜日に行われる十字架の道（Vía Crucis）を対象に、Humanscape（人の景）の調査・分析を通じて、教会を核とするコミュニティのかたちを読み解くことを試みた。調査・分析の結果、巡礼のルートや規模、留の設置場所と形式、祭壇の装飾、演出の工夫などから、各コミュニティの領域と規模、性格を読み解くことができた。</p> <p>メキシコ・シティ旧市街におけるコミュニティの実態に関する既往研究が極めて乏しい中、教会を核とするコミュニティの構造・特徴を明らかにしたことは、非常に意義のある成果であると言える。また、試論の段階ではあるが、Humanscape の調査・分析を通じたコミュニティ研究の方法論を提示することができた。</p> <p>今後の展開として、今回の研究では、Humanscape を地域のアイデンティティを読み解くためのツールとして用いたが、将来的にはこれを豊かな都市空間を実現する上でのキーコンセプトとして用いたいと考えている。都市空間の背後にある地域の社会構造や場のデザインを通じて質の高い公共空間を実現する方法論として、Humanscape Urbanism の構築に取り組みたい。</p>